

医療安全ニュース

2020年3月 あおもり協立病院 医療安全管理

「尿道留置カテーテル、ペアンでのクランプ



プによるカテーテル断裂事例

スライドクランプ導入！」

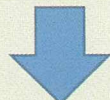
日々インシデント報告をして頂き有難うございます。

1月インシデントに上記内容がありました。業務変更にも繋がりましたのでご紹介いたします。

尿道カテーテルを留置している患者様。その日に採尿指示があり、カテーテルをペアンでクランプした。クランプ中に入浴介助の順番となった。カテーテルの固定テープを剥がしてから入浴した。入浴を終え、ズボンを挙げた時にカテーテルがちぎれた（カテーテルはペアンの重みでクルクルと回転し1点に圧力が高まった状態だった）カテーテルが途中からちぎれ、固定水も抜けない状態だったのでカテーテルをそのまま抜いた。

ここで注目してほしい点は3つあります。

- ①カテーテルのどの部分をクランプしたのか
- ②そもそも、クランプしている最中に入浴しなければならなかったのか
- ③固定水が抜けない場合、そのまま抜いて良いのだろうか



- ①尿道留置カテーテルY字（本管と固定水を入れる管）よりも患者側の管をクランプした
- ②入浴行為で固定水を剥がすと、ペアンの重り等で抜去リスクが上がるため望ましくない。（D I Bキャップ等で代用するのが望ましい）
- ③そのまま抜くと尿道損傷リスクがあるため、当院では医師ヘコールする手順となっている

この事象のあとメーカーに相談した結果・・・

「ペアンやコッヘルでのクランプはカテーテルの損傷に繋がるため推奨しない」という回答でした。

ではどうする？

当院の採尿マニュアルでは、「どの部分を、何を使ってクランプする」という明記がありませんでした。リスク部会・業務検討委員会で検討した結果、以下の通りマニュアル改訂になりました。

検査手順「尿培養」から引用

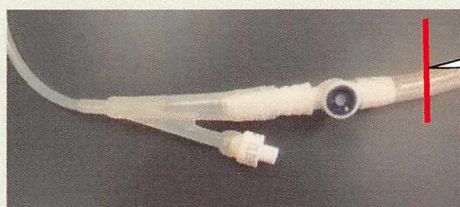
＜膀胱留置カテーテル挿入中の場合：サンプルポートのある場合＞

【必要物品】

・アルコール綿 ・20ml注射器 ・スライドクランプ ・滅菌尿コップ ・未滅菌手袋

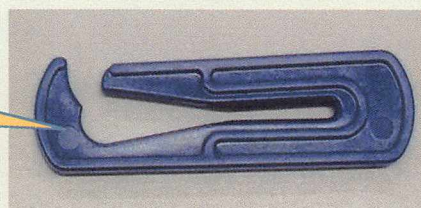
【手順】

- 1.採尿前20～30分程スライドクランプで採尿バックのチューブをクランプしておく。
- 2.手指衛生後、PPE を装着する。サンプルポートをアルコール綿で拭いた後、20ml注射器で採尿し、無菌的に尿コップに入れる。



サンプルポートから
採尿バック側のチューブをクランプする

スライドクランプ



*スライドクランプはディスポーザブルなので使用後は廃棄して下さい。

再度確認！

「尿道留置カテーテルで採尿する時は、コッヘルやペアンでクランプしない！」

周知の程宜しくお願い致します。

みんなで守ろう、患者安全！